

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成28年9月29日に文部科学省から提供された全国学力・学習状況調査結果について、上野原市の分析結果がまとまりましたのでお知らせします。

本調査は、本年4月19日に全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることなどを目的として、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施されました。

内容は、教科に関する調査（国語、算数・数学）と生活習慣や学習環境等に関する調査が行われ、市内5校の小学校第6学年の児童196名の内188名、3校の中学校第3学年の生徒189名の内184名が参加しました。

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、市教育委員会としましては、今後、この分析結果を生かしながら、児童生徒の学力や生活習慣の向上を図り、市教育委員会教育方針であります「確かな学力と豊かな心の育成を目指した教育の充実」の実現に向けて、なお一層の教育活動を推進していきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせませんので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各学校における教科に関する考察と今後の対策等については、個人面談や学校だよりなどにおいて保護者の皆様にお知らせする予定です。

上野原市教育委員会

○教科に関する調査の状況について

問題種別	国語		算数・数学	
	A（知識）	B（活用）	A（知識）	B（活用）
小学校6年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等
中学校3年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等

*A（知識）：身に付けておかなければ後の学年の学習内容などに影響を及ぼす内容

*B（活用）：知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容

*教科に関する考察と今後の対策については、2ページ、3ページをご覧ください。

○生活習慣や学習環境に関する調査の状況について

*4ページ、5ページをご覧ください。



平成28年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

小学校(国語)

国語 A		国語 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。 ・目的に応じて、図と表とを関係付けて読む。 ・用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の表現の仕方をよりよくするために、読み合い、助言しあう。 ・目的や意図に応じて、書く事柄を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える。 ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書く。 ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習時間等の充実を図ることにより、漢字を読むことなどの学習に成果が表れている。今後も学習活動の充実を図り、基礎基本を定着させる取り組みを継続していく。 ・国語科はもとより他教科の中でも、自分の考えを相手に伝えるように書いたり、話したりする活動を多く取り入れていく。 ・朝読書や家読(うちどく)への働きかけをさらに推進する。

小学校(算数)

算数 A		算数 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> ・繰り下がりのある減法の計算をすることができる。 ・乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができる。 ・単位量当たりの大きさの求め方を理解している。 ・三角形の底辺と高さの関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解する。 ・除法における計算の確かめの方法を理解する。 ・数の大小関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・示された条件を基に、ほかの正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べることができる。 ・示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる。 ・正方形に内接する円の半径について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述する。 ・グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を活用したり、朝の学習時間を充実させたりしたことにより、図形の理解や学びの意欲向上に良い影響として表れている。今後も、デジタル教科書の効果的活用と、朝の学習時間等の充実により、計算力などの定着を図っていく。 ・多様な考えを知り合う学習活動を取り入れていく。 ・考えの根拠を持たせる学習指導を行う。 ・学んだ内容の定着のために、家庭と連携した学習習慣づくりを行う。

平成28年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

中学校(国語)

国語 A		国語 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。 ・辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える。 ・文の成分の照応について理解する。 ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。 ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を整理して文章を構成する。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。 ・文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く。 ・文脈における語句の意味を理解する。 ・互いの発言を検討して自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える。 ・文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く。 ・目的に応じて文章を要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を捉える。 ・文章の中心的部分と付加的部分とを読み分け、要旨を捉える。 ・目的に応じて必要な情報を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読み、ものの見方や考え方に触れ、その世界に親しむ指導を充実させる。 ・伝えたい事柄にふさわしい語句や文章になっているか、文や段落相互の関係は適切かなどに着目した指導を充実させる。 ・全体で意見を述べる前に、自分の考えを形成する時間を十分に確保した上で、互いの主張や根拠を確かめる学習活動を行う。 ・自分の疑問を解決するために必要な資料を集め、その中から必要な情報を考える学習を行う。 ・文章の構成や展開などの表現の特徴を捉えて、その効果について自分なりの考えを持たせる学習活動を行う。

中学校(数学)

数学 A		数学 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> ・分数と小数の乗法の計算ができる。 ・正の数と負の数の加法の計算ができる。 ・不等式の意味を読み取ることができる。 ・具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて目的に応じて変形できる。 ・見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる。 ・比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくる。 ・円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の三分の一であることを理解する。 ・証明の必要性和意味を理解する。 ・具体的な事象における一次関数を式に表わす。 ・「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる。 ・適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて証明することができる。 ・条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明する。 ・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する。 ・筋道を立てて考え、証明する。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉える。 ・与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に証明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文や表・グラフから数学的な数量関係を読み取り、式や根拠の説明など数学的に表現する過程を重視した系統的な指導を充実させる。 ・問題解決過程における考え方や根拠とした定義など、筋道を立てて説明させる系統的な指導を充実させる。 ・図形の性質を理解し、根拠となる仮定を的確に導き出せるよう図形に親しみ、多様な見方や考え方に重きを置いた学習を進める。 ・家庭学習の充実を図り、基礎学力を向上させる取り組みを推進する。

生活習慣や学習環境に関する調査の状況

表の数値は、選択肢のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的な回答として割合を示しました。

* 次の調査結果は、重要で関心が高いと思われるものと課題となるものを抜粋しています。

1 生活習慣等について

〔単位：％〕

朝食を毎日食べていますか			
	市	全国	差
小	96.8	95.5	1.3
中	91.3	93.3	-2.0

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
	市	全国	差
小	81.4	80.1	1.3
中	70.7	75.2	-4.5

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか			
	市	全国	差
小	82.5	76.1	6.4
中	71.8	69.6	2.2

自分には、よいところがあると思いますか			
	市	全国	差
小	80.3	76.3	4.0
中	64.7	69.3	-4.6

将来の夢や目標を持っていますか			
	市	全国	差
小	86.1	85.3	0.8
中	75.5	71.1	4.4

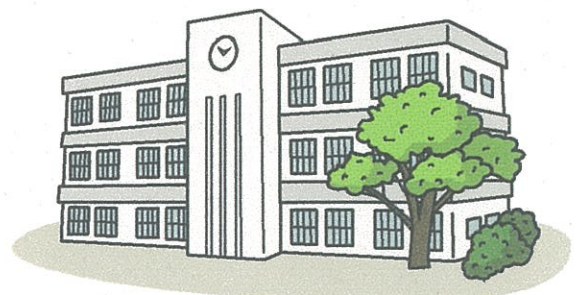
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(パソコン・携帯・スマホのゲームを含む)をしますか(2時間以上)			
	市	全国	差
小	35.1	29.7	5.4
中	41.8	34.9	6.9

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(30分以上)			
	市	全国	差
小	42.1	30.4	11.7
中	69.5	63.4	6.1

家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか			
	市	全国	差
小	76.0	79.2	-3.2
中	78.9	74.1	4.8

今住んでいる地域の行事に参加していますか			
	市	全国	差
小	76.6	67.9	8.7
中	70.1	45.2	24.9

- ・ 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している児童生徒、また、自分に自信を持ち将来の夢や目標を持っている児童生徒が多くいます。今後もその姿勢を継続させたいと思います。
- ・ 携帯電話やスマートフォンの使用の割合が全国平均を上回っています。特に小学生の割合が昨年度よりも約12%も増えています。また、テレビゲームなどの時間も長くなっており、学習時間や睡眠時間への影響が課題となります。
- ・ 地域の行事に積極的に参加している児童生徒が多くいます。中学生の割合は全国平均を大きく上回っています。さらに地域での温かい見守りをお願いします。



2 学習環境等について

〔単位：％〕

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）			
	市	全国	差
小	51.0	62.5	-11.5
中	57.6	67.9	-10.3

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上）			
	市	全国	差
小	40.5	36.5	4.0
中	37.0	28.2	8.8

家で、学校の宿題をしていますか			
	市	全国	差
小	97.3	97.0	0.3
中	89.7	90.1	-0.4

家で、学校の授業の予習をしていますか			
	市	全国	差
小	44.2	43.3	0.9
中	29.4	34.2	-4.8

家で、学校の授業の復習をしていますか			
	市	全国	差
小	52.1	55.2	-3.1
中	47.3	51.0	-3.7

学校に行くのは楽しいと思いますか			
	市	全国	差
小	84.6	86.3	-1.7
中	75.5	81.4	-5.9

学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか			
	市	全国	差
小	97.3	96.2	1.1
中	92.4	94.7	-2.3

あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めていると思いますか			
	市	全国	差
小	86.7	81.8	4.9
中	79.9	78.4	1.5

学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか			
	市	全国	差
小	90.4	86.3	4.1
中	84.2	84.2	0.0

人が困っているときは、進んで助けていますか			
	市	全国	差
小	86.7	84.6	2.1
中	89.1	83.8	5.3

先生は、間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか			
	市	全国	差
小	91.0	84.8	6.2
中	76.7	74.1	2.6

400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか			
	市	全国	差
小	63.3	60.4	2.9
中	53.3	62.8	-9.5

国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか			
	市	全国	差
小	87.2	78.1	9.1
中	75.0	71.3	3.7

算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか			
	市	全国	差
小	85.6	80.8	4.8
中	71.8	69.8	2.0

算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか			
	市	全国	差
小	89.9	84.8	5.1
中	87.5	81.1	6.4

- ・家庭での学習時間(塾等を含める)は、中学生では全国平均を下回っています。学校の宿題は、家でしっかりできていますが、授業の予習や復習が課題となります。
- ・学校へ行くのが楽しい、友達と会うのが楽しいという児童生徒が多くいます。友達と協力し、助け合って学校生活を送っています。
- ・感想文や説明文などの文章を書くことを苦手としている児童生徒が多くいます。読むことに対しては、全国平均を上回っています。書く習慣を身に付けることが課題となります。
- ・算数や数学の勉強は大切であると多くの児童生徒が考えており、また、ほとんどの中学生が数学ができるようになりたいと思っています。授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くことは、全国平均を上回っており、理解力向上につながると考えます。